



# 名鍍会報告

2021. 11

名鍍会9月度例会は、9月30日（木）18：00～ 株式会社ダイセキの堀様およびグループ会社である株式会社ダイセキ環境ソリューションの八下田様に「持続可能な社会構築に向けた取り組み」について講演していただいた。今回は緊急事態宣言発出中であることから完全オンラインで行った。

The screenshot shows a Zoom meeting interface with a presentation slide. The slide is titled '会社概要' (Company Overview) and includes a table of company information and a diagram of their business model.

社名	株式会社ダイセキ
代表者	代表取締役 柱 秀貴
創業年月日	1945年（昭和20年）11月1日
設立年月日	1958年（昭和33年）10月1日
本社所在地	名古屋市港区船見町1番地86
事業内容	産業廃棄物中間処理・収集運搬
資本金	6,382百万円（2021年2月末）
売上高	30,862百万円（2021年2月末）
上場市場	東証一部・名証一部
従業員数	682名

The diagram below the table shows a cycle of '発想' (Idea), '構想' (Concept), '構築' (Construction), and '実行' (Execution). A red box highlights the slogan: '廃棄物を資源と考えると、循環型社会の構築に貢献します' (By considering waste as a resource, we contribute to the construction of a circular society).

The second screenshot shows a slide titled 'グループ会社：(株)ダイセキ環境ソリューション' (Group Company: Dai-seki Environmental Solutions). It describes their services: '土壌に関するコンサルティング、調査、分析、対策を一貫して対応' (Integrated response for soil consulting, investigation, analysis, and countermeasures). The slide details three main services: Consulting, Soil Investigation, and Environmental Analysis, each with a brief description of their process.

ダイセキ様は主に産業廃棄物の中間処理と収集運搬を行っているが、廃油・廃アルカリ・汚泥・廃酸で取り扱いの96%を占めており、リサイクル率は88.3%に至る。昨今自動車業界で話題に上がるカーボンニュートラル（CN）やSDGsの観点では、例えば廃油は油水分離・燃料化処理を行うことで、単純焼却処理と比較しCO2排出量を99%削減できており、時流に乗った事業内容だと感じた。

CNについては、ダイセキ様から自動車メーカーへ、CO2削減をどのようにカウントするか質問しており、もうすぐ回答をもらうとのこと。自動車メーカーが取り組む以上、CNやSDGsは我々にとって無視できない項目になりつつあるため、今回の講演は有意義であった。

Y. M.